

# 建交労 ひかい

2022年12月号  
発行：建交労 No.225  
岐阜農林建設連合支部  
〒501-4234  
郡上市八幡町五町1-4-15  
電話 0575-67-1582

## すべての労災・職業病の根絶をめざす

### コロナ禍の中だからこそ団結を！ 第23回 定期大会開催



団結ガンバローをおこなう神岡2陣代表 小北さん

11月25日(金)、郡上市文化センターで岐阜農林建設連合支部の第23回定期大会を開催しました。コロナウイルス感染予防のため出席者を絞った開催となりました。

最初にこの1年間で亡くなられた8名の皆さんに黙とうを捧げました。

水本明治執行委員長は、コロナ感染拡大で諸活動が十分に行えない状況が続いたが、確実に運動を進め成果を勝ち取ったことを報告しました。全国トネルじん肺根絶訴訟では、係争中である7陣訴訟で早期和解にむけて奮闘し、残す課題である「救済法」創設を最終の闘いと位置づけ、頑張ろうと伝えました。また、神岡じん肺訴訟は2陣の勝訴が最高裁で確定したことを伝え、さらに被災者の救済を進めることを力強く宣言しました。組合員の減少が続いていることについて、自分たちの補償を守り、当組合が目指す職業病根絶の運動を進めるために組織拡大が欠かせない、組合員一人一人が「大きくて強い組合組織」を築くよう積極的に運動を行おうと訴えました。(裏へ)



あいさつする山田県本部委員長

来賓として出席いただいた山田透県本部執行委員長は、「県本部を構成する支部のなかでも岐阜農林建設連合支部の占める割合は大きく、運動を支えてもらっていることに感謝する。また農林支部は長い歴史がある。認定闘争で国と対峙できる組合であることが必要だ。そのためには、支部の課題を自分のこととして捉えることが大切。潜在している労災被災者は多い。みなさんの培ってきた知恵や力をそういった人の救済に使ってほしい。そのような闘いを行うことは社会に認められることでもある。」

と挨拶しました。

その後、高橋執行委員長ら、建交労 労職部会長 石田直道さんから届いたメッセージが代読されると大きな拍手がおこりました。



祝辞を読む高橋執行委員

## 組合員純増について熱心な討議

執行部から、トンネルじん肺根絶訴訟・三井金属神岡鉱業じん肺訴訟や行政訴訟の勝利に向けての運動が提案されました。特に、組織拡大の取り組みについて、10%の拡大をすべての組合員の課題と位置づけ奮闘していくことが強く訴えられました。具体的な計画と

して、分会の定例会議などで組織拡大を位置づけ、目標達成に取り組む。「紹介カード」「部会パンフレット」を活用し、組合員一人一人が積極的に声がけし、仲間を増やすことを提案。

東濃分会では、組合員の声かけが積極的に実施され、組合加入につながっています。どのように行われているのかについて榊さんは「相手をよく知ることが大切。じん肺手帳の申請を予定しているという人がいたので、咳や痰が苦しいなら労災を申請するといっているので声をかけた」と報告がありました。いろいろな活動に高齢化やコロナ感染拡大のため参加する人が少なく、組織拡大を困難していると発言がありました。そうした困難な状況を突破し

て目標を達成するには、組合員が一丸となって取り組むことが必須だとの意見ができました。

熱心が討議が行われ、運動方針など提案された議案はすべて採択されました。

新役員が選出され、神岡じん肺2陣訴訟の小北行雄代表が団結がんばろーを行い大会を終了しました。



2023年度執行委員メンバー

# トンネル7陣訴訟 第4回口頭弁論

## 福井地裁

11月14日、「トンネルじん肺根絶第7陣北陸中部訴訟」の第4回弁論が福井地裁で開催されました。岐阜から、佐藤康男さんと事務局の3名で傍聴応援に行きました。

吉川弁護士は「弁護団側の主張は全て尽くした。裁判所は一月の期日までに一時認定を行う予定を崩していない。5月頃には和解解決ができるのでは」と話しました。

ん肺の根絶闘争について話し、制度創設に向けた賛同を求めました。10月からアポを事前に取り日程を調整できたところから訪れ、11月8日には全ての議員事務所を訪問することができました。

裁判傍聴後の報告集会で

### 国会議員要請行動

#### 県内全ての議員に事前要請

11月15日、16日に「特定じん肺労働者に対する給付金の支給等に関する法律案」の創設を求める国会議員要請行動が東京で行われました。そのため、事前行動として岐阜県内すべての議員に賛同署名要請のために各事務所を訪れ、



トンネルじん肺根絶に向けての団結ガンパロー



古屋圭司議員事務所



大野泰正議員事務所



金子俊平議員事務所



野田聖子議員事務所

## 2022年11月の活動報告

- |           |                    |               |
|-----------|--------------------|---------------|
| 11/1      | 第8回執行委員会           | @郡上市文化センター    |
| 11/4      | 新規検査(難聴)           | @岡田耳鼻科        |
| 11/8      | トンネルじん肺根絶 国会議員署名要請 | @野田聖子事務所ほか    |
| 11/11     | 会計監査               | @組合事務所        |
| 11/14     | トンネルじん肺訴訟第7陣弁論     | @福井地裁         |
| 11/15     | 神岡じん肺訴訟 弁護団会議      | @リモート参加       |
| 11/15~16日 | 国会議員要請             | ※コロナ感染予防のため欠席 |
| 11/17     | 県・労働局要請 県労連主催      | @岐阜県庁ほか       |
| 11/25     | 第23回定期大会           | @郡上市文化センター    |
| 11/30     | 新規検査(振動障害)         | @下呂温泉病院       |

## 2022年12月の予定

- |          |                |            |
|----------|----------------|------------|
| 12/2     | 神岡じん肺訴訟 闘争本部会議 | @郡上市文化センター |
| 12/4     | 職業性疾患学習会       | @リモート参加    |
| 12/7     | 行政訴訟 陳述書の打ち合わせ | @組合事務所     |
| 12/16    | 神岡じん肺訴訟 弁護団会議  | @リモート参加    |
| 12/20~21 | トンネルじん肺根絶訴訟 弁論 | @東京地裁ほか    |

## 編集後記

はるか昔、お見合で会った夫は「よかったら食べて下さい」と自宅で実った甘柿をどっさり届けてくれた。その美味しかったこと、もう少し独身生活を謳歌しようかなと呑気に思っていたわたしは、この柿が食べたくて結婚を決意したようなものだ。

その柿の木もわたし同様年を経て老木になって、あまり沢山実らなくなった。特に今年は生り年でなかったせいも、高いところによぼちよぼと実をつけた。わたしでは採ることが出来ないのも、夫に竹竿でとってもらった。「めんどくさいなあ」と、文句を言いながら10個ぐらい採って台所に置いてある。それをもしましや一気に食べ尽して、何度も採るよう夫に言っていたら「おまえしか食わないやで、自分で採れ」と拒否。冷たいやつだ。部屋でコーヒーを飲んでみると、夫が柿の木に走っていき姿が見えた。戻ってきた夫が、「柿の木に登っておる姿が見えたで、どんくさいおまえが落ちたらいかんと思つて走つていったら、大きな猿やったわい」と笑った。愛妻と猿を見間違えるなんてやつ!その上、大好きな柿の実も全部無くなっていった。